

アイソン彗星の顛末 蜂のムサシカイカロスか

2013年に明るくなる彗星の大本命！アイソン彗星が近日点通過を迎えました。発見が2012年9月ですから待ちに待って1年2ヶ月、当初の予想より光度が暗く期待はずれの声もある中で、近日点通過前になって徐々に光度を上げ、期待感Maxとなりましたが、結局は太陽最接近時に分解消滅というあつけない幕切れとなってしまいました。今回は、その観測の顛末を振り返ります。

実は自分がアイソン彗星を始めて確認したのは10月12日の明け方の獅子が岳でした。9等級に達しているというようなデマ？も手伝って大いに期待したものの、10cmの双眼鏡でも視認が難しいような状態で、(たぶん10等級後半か?)そのあと暫く観測を継続する気が失せてしまいました。

その後、11月中旬になって仲間内でも観測報が徐々にメーリングに流れるようになった頃、ようやく観察を再開してその後は11月16日から24日まで、ほぼ毎日連続のマラソン観測を行いました。以下はその記録です。

- ・11月16日：松阪市天文台の面々が大石に集結することで一緒に観測しようと目覚ましをかけるも、しっかり寝坊して到着したときはすでにアイソン彗星が地平線から昇ってきていました。K氏の15cmフジノン双眼鏡で見せていただくと明るいコマから細長いイオンテールが伸びていて、近日点通過前らしい姿が印象的でした。
- ・11月17日：少しモヤがかかって透明度が悪かったのですが、近場の阿阪に出動しました。この日も時間がなくてセッティングを焦り、北極星を間違えるという久々の大ミスをしてしまい、まともな写真はゲットできませんでした。
- ・11月18日：この日からは平日なので、ベランダでの観測としました。機材は、ナノトラッカーとNikon D5100+180mmEDであります。我が家からアイソン彗星が昇ってくる方向の軸線は、松阪市と伊勢市の市街地の上を通過していて、光害の点ではいささか不利ですが、地平線が見通せるので太陽に近づきぎりぎりまでがんばれるので期待感大でした。
- ・11月19日：朝起きるも、曇天で彗星は確認できませんでした。同日に、インドの火星探査機が近地点でエンジンの噴射を行ったとのことですが、残念ながら見る事ができませんでした。
- ・11月20日、21日、22日、23日、24日：毎日早起きしてアイソン彗星を追いかけました。日を追うごとにダストの尾が立派になってくるのが良くわかりました。結局、24日がアイソン彗星を確認できた最後の日となりました。



10月12日 Pentax100SDUF



11月16日 Pentax100SDUF



11月23日 ED180mmF2.8

そして 11 月 29 日、アイソン彗星は、太陽への最接近で分解してしまいました。その様子は、SOHO 観測衛星の画像でインターネットを通じてみる事ができましたが、太陽から離れるにつれて残骸が徐々に拡散してゆき、ひ

よっとしてダストくらいは見えるかも・・・という希望もなくなっていました。当初からすると期待はずれではありましたが、それでも、これだけ楽しむことができた彗星はひさしぶりで、しっかりと堪能できて、とても良かったです。

メカが大好き 中古カメラ用品大バーゲン

名古屋の丸栄では、年に3回ほど「中古カメラ大バーゲン」という、中古カメラ市が開かれています。もともと、名古屋では 90 年代頃まで毎年春にカメラショーが開催されていて、その関連イベントといった感じで実施されていたのだと覚えているのですが、今も継続されているのは「あっぱれ」であります。

そんなことで、今回も名古屋にお出かけしたついでに物色をしに行ったのですが、私の場合、カメラ本体にはあまり興味がなくて(大判を除く)、天体観測に(または工作に)応用できそうなジャンクは無いものかと、不純な視点で探し回ります。

そして今回の収穫は写真のとおり、フィルターもろもろとパンヘッドのジャンクでありました。フィルターは 1 枚 300 円ですから特に目的も無く買い込みです。9cm 径の赤フィルターなんていったい何に使うのかさっぱり考えてません。パン

ヘッドのほうは、私の目にはどうみてもガイドマウントです。ああ、また無駄使いしてしまった・・・



Books & CDs Guide9 /Project Pluto

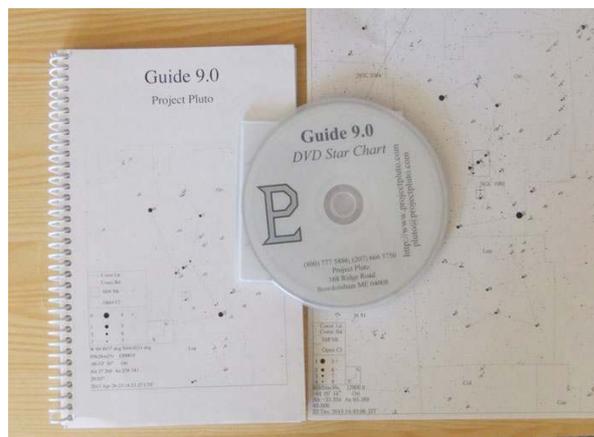
パソコンの星図ソフトは数々ありますが、リアルさは二の次にして、「星図」に徹したソフトがGuideであります。なによりも、紙に印刷したときの美しさは他のソフトとは一線を画す秀逸なソフトで、代えられない魅力があります。

実は、自宅のデスクトップパソコンをXpからWindows7に徐々に移行しているところで、先日、Guide8をWindows7に入れようとしたら、インストールプログラムが動作しませんでした。困ってしまって、製品の web サイトを見ると、インストールプログラム自体が 16bit で書かれているため Xp より後の Windows では動作しないそうで、そのところは、ちゃんと7でも動作する別のプログラムが用意されていました。

そこで、さっそく改めてインストールしようかと考えたのですが、いつのまにやら次のバージョンである Guide9が発売されていることがわかったので、また、値段も送料込みで45 \$と比較的安価だったので、この際に購入することにしました。

使ってみた感想としては、見かけは前バージョンと大差ないのですが、細かな操作性や日本語対応が改善されていて、地味ながらも進化が感じられました。印刷画面において Ver.8 のメッセージが出るなど、修正しきれてないところが垣間見えるのはご愛嬌です。(笑)

雑に使うソフトではありませんが、こぞという時に重宝する必須のアプリケーションです。



編集雑記

今月は、アイソンショックと忘年会ラッシュでペーパーの作成がめっきりと遅れてしまいました。なんとか完成です。

さて、11 月の毎日連続の早起きの時は、東天の水星のそばにアイソン彗星を探しました。水星は太陽との離角が小さいので本来はなかなか見つけにくい星のはずですが、

あたりまえのように毎日水星を眺めたのははじめてのことでした。おかげで、水星がすっかり身近な惑星になりました。